

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

公益財団法人永井科学技術財団の令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)期間における理事長の業務執行および事業内容について、以下のとおり報告いたします。

1. 「令和3年度事業報告・決算報告」に関する事項

理事長は、令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の事業報告、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書・同内訳表、財務諸表に対する注記および令和4年3月31日現在財産目録の各案を作成し同4月28日に監事の監査承認を受け、同日付で監査報告書を受領した。なお、本内容は5月の理事会および6月の定時評議員会に付議された。

2. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和4年5月18日付にて各理事に対し、下記の第1号から第3号の決議事項を提案し、令和4年5月24日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案全議案は原案どおり承認可決された。なお、同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

第1号議案 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)事業報告の件

第2号議案 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)収支計算書、正味財産増減計算書および同内訳表、貸借対照表、令和4年3月31日現在財産目録ならびに財務諸表に対する注記の件

第3号議案 令和4・5年度選考委員の一部改選の件

第4号議案 定時評議員会 招集の件

各評議員に対し、次の報告および議案審議のため定時評議員会を招集

報告事項 令和3年度事業報告

議案事項 ①令和3年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および同内訳表、財務諸表に対する注記ならびに令和4年3月31日現在財産目録の件

②令和4・5年度理事、監事の改選の件

③令和4・5年度評議員の一部改選の件

3. 「定時評議員会」に関する事項

理事長は、令和4年5月24日の理事会決議事項の承認をもって同5月26日付にて定時評議員会を同6月9日に招集したが、定款第23条の1に掲げる出席定足数を満たさなかったため書面決議を行い令和4年6月15日までに評議員全員から原案に対する同意書が提出され、提案全議案は原案どおり承認可決し、同日付で定時評議員会議事録を作成した。

報告事項 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日)事業報告

決議事項

第1号議案 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)収支計

- 算書、正味財産増減計算書および同内訳表、貸借対照表、令和4年3月31日現在財産目録ならびに財務諸表に対する注記の件
- 第2号議案 令和4・5年度理事、監事の改選の件
理事、監事全員が任期満了となり退任、改めて理事、監事全員を選任した。さらに、新たに永井歩氏を選任した
- 第3号議案 令和4・5年度評議員の一部改選の件
多賀康訓、伊澤守康、田澤直人の3氏が辞任、松原一郎、武藤 敬の2氏が選任した

4. 「役員変更登記」に関する事項

令和4年6月15日付で、定時評議員会決議に基づく当財団理事9名、監事2名の重任および理事1名の就任、評議員3名の辞任と2名の就任の登記を令和4年7月1日に完了した。併せて、当財団ウェブサイトにて公開した。

5. 「令和4年度上期公募」に関する事項

科学技術育成教育助成金および企業家支援助成金は、令和4年4月4日から同年5月10日まで当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、以下の応募申請を受け付けた。

- (1) 科学技術育成教育助成金 . . . 5件
- (2) 企業化支援助成金 . . . 1件

6. 「選考委員会による審査および審議結果（上期公募）」に関する事項

前項における令和4年度上期の科学技術育成教育助成金および企業化支援助成金の審査・審議は、令和4年6月20日付で選考委員会を书面決議提案にて開催し、各選考委員の審査・審議の結果に基づき、以下の5件が採択され、理事会に付議することで決定した。なお、令和4年6月28日付で、選考委員会議事録を作成した。

- (1) 令和4年度上期科学技術育成教育助成金
ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾（名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター）はじめ4件を採択
- (2) 令和4年度上期企業支援助成金
CNBベンチャー大賞（中部ニュービジネス協議会）1件を採択

7. 「理事会」に関する事項

理事長は、前項の選考委員会の決定を受けて、令和4年6月30日付にて各理事に対し、下記の報告事項および決議事項を提案し、令和4年7月13日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案議案は原案どおり承認可決された。なお、同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項 令和4年度上期科学技術育成教育助成金、企業化支援助成金の選考結果の件
決議事項 令和4年度上期科学技術育成教育助成金、企業化支援助成金の交付の件
助成金額については、以下の総額210万円と決定した。

- ①科学技術育成教育助成金は、ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾（名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター）はじめ4件に計160万円を助成

②企業化支援助成金は、CNBベンチャー大賞（中部ニュービジネス協議会）1件に50万円を助成

8. 「令和4年度上期各助成金交付」に関する事項

令和4年7月13日の理事会決議に基づき、令和4年度上期育助成金5件に対し、交付決定通知を行うとともに、交付申込書の提出を求め、その申請に基づき開催日の1ヵ月前に助成金を交付した。

9. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和4年9月13日付にて理事会を招集した。これにより、令和4年11月17日に名古屋市内の「ホテル ルブラ王山」にて開催され、理事(9名)、監事(1名)が出席のもと、下記報告事項および決議事項について対面とWeb会議にて審議された。結果、提出された報告事項および決議事項は原案どおり承認可決され、同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項 令和3年度上期の事業報告および収支状況報告の件

決議事項 選考委員の報酬等の支給に関する内規の改定の件

選考委員の審査労力が増えており、報酬等の支給に関する内規の謝金額を年間8万円から10万円と改訂した。

10. 「受賞者交歓会の開催」に関する事項

理事長は、当財団事業の一つである「令和4年度受賞者講演・交歓会」を令和4年11月17日に名古屋市内の「ホテル ルブラ王山」で、コロナ感染症対策を十分に施した上で開催することを決定して受賞者はじめ関係者へ案内、開催した。

講演会の講演者および演題は以下のとおりである。

(1) 受賞者講演：田村卓也 氏（令和3年度学術賞受賞）

【国立研究開発法人産業技術総合研究所 磁性粉末冶金研究センター 磁性材料プロセスチーム 研究チーム長】

演 題：「磁性材料プロセスチームにおける研究テーマ」

(2) 特別講演：松原一郎 氏（当財団評議員）

【国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター 所長】

演 題：「産総研中部センターが進めるデータ駆動型研究開発」

11. 「令和4年度財団賞、奨励金、助成金」に関する事項

令和4年9月1日～同年10月31日までの2ヵ月間、当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、合計53件の応募申請を受け付けた。

(1) 財団賞の申請・・・・・・・・・・・・・・・・17件

(2) 奨励金の申請・・・・・・・・・・・・・・・・21件

(3) 助成金の申請・・・・・・・・・・・・・・・・15件

12. 「選考委員会による審査および審議結果（下期公募）」に関する事項

前項における令和4年度財団賞、奨励金、助成金の応募申請53件につき選考委員全員の査読審査を経た後、令和5年1月10日にWeb会議にて選考委員会を開催した。選考委員の審議・審査の結果、以下の45件が採択され、理事会に付議した。なお、同日付で、選考委員長より審議・審査結果書の提出とともに選考委員会議事録が

作成された。

(1) 財団賞

学術賞に名古屋市立大学・雨夜 徹はじめ6件、技術賞に株式会社マクシスエンジニアリング・西郷知泰はじめ4件、奨励賞に産業技術総合研究所・崔はじめ3件の計13件を採択

(2) 奨励金

研究奨励金に名古屋大学・上野智永はじめ7件、融合研究奨励金に産業技術総合研究所・北 憲一郎はじめ3件、共同研究奨励金に名古屋大学・伊藤伸太郎をリーダーとするグループはじめ2件、モノづくり試作奨励金に名古屋芸術大学・加藤良将はじめ2件、素形材のデジタル化研究奨励金に産業技術総合研究所・島本太介はじめ2件、カーボンニュートラル研究に名古屋大学・織田 晃はじめ2件の計19件を採択

(3) 助成金

大学院生海外研修助成金に名古屋工業大学・馬越 翠はじめ2件、大学院生国際会議発表支援助成金に大同大学・板倉風雅はじめ7件、大学院生論文投稿支援助成金に豊橋技術科学大学・石川耕雪の1件、科学技術育成教育助成金に豊田工業高等専門学校・ものづくり体験記はじめ3件を採択

1.3. 「理事会」に関する事項

前項の選考委員会による令和4年度財団賞、奨励金、助成金の採択結果に基づき、定款第39条第2項および第3項に則り、令和5年1月12日付にて各理事に対し選考委員会審議結果の報告とともに本件の決定についての議案を提案、理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、添付資料に記載の交付対象者に助成することを令和5年1月25日付で承認可決した。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

財団賞の交付金額は、学術賞100万円/件、技術賞50万円/件、奨励賞50万円/件の計950万円。奨励金の交付金額は、研究奨励金50万円/件、融合研究奨励金50万円/件、共同研究奨励金100万円/件、モノづくり試作奨励金50万円/件、素形材のデジタル化研究奨励金50万円/件、カーボンニュートラル研究奨励金50万円/件の計1,050万円。助成金の交付金額は、大学院生海外研修助成金50万円/件、大学院生国際会議発表支援助成金50万円/件、大学院生論文投稿支援助成金50万円/件の計430万円に加え科学技術育成教育助成金3件で計100万円の合計2,530万円の交付として決定した。

1.4. 「令和4年度財団賞、奨励金、助成金の交付」に関する事項

令和5年1月25日の理事会決議に基づき、令和4年度財団賞、奨励金、助成金交付者に対し交付決定通知を行うとともに交付申請書の提出を求め、その申請に基づき各交付者に助成金を交付することとした。

1.5. 「令和4年度助成事業の実績等」に関する事項

当年度事業における財団賞、奨励金、助成金については、助成計画23,000千円に対し、総額27,400千円(50件)の助成実績となった。

16. 「令和4年度財団賞、奨励金の贈呈」に関する事項

本件については、令和5年1月25日の理事会決議に基づき、令和4年度財団賞受賞者および奨励金受賞者に対し、令和5年2月2日に各決定通知を発送した。なお、贈呈式は令和5年3月2日に名古屋市内の「ホテルオークラレストラン名古屋」にて行った。

17. 「理事会」に関する事項

本件は、令和5年3月2日に名古屋市内の「ホテルオークラレストラン名古屋」にて開催し、下記事項についての報告および議案審議を行い原案通り承認可決された。

報告事項 (1) 令和4年度事業報告の件
(2) 令和4年度収支決算見込み報告の件

決議事項

第1号議案 令和5年度事業計画の件
第2号議案 令和5年度収支予算の件

以上